

## 資料11-2 生物多様性の現状の整理・評価について

### 1 基本的な考え方

戦略の策定や、関連する取組の推進にあたっては、区民等との連携・協働が重要です。港区の生物や、生物の生育生息環境の保全・再生を進めるうえでは、次のようなことを区民等と共有し、ともに考える必要があります。

- ・ 港区のどのような場所にどんな生物が生育・生息しているのか
- ・ 港区の生物の生育・生息状況（豊かさ・貧弱さ）はどうか
- ・ 守るべきものは何か
- ・ どのような状況を目指したいか
- ・ それぞれができることは何か

上記をふまえ、港区の生物多様性の現状の整理・評価を行うために、次の点についての考え方を整理します。

- 1) 港区における環境タイプ
- 2) 生態系の現状の共有に適した種・種群

### 2. 港区における環境タイプ(案)

港区における環境を下表のように区分し、現状の整理・評価をします。

大区分	小区分
樹林	斜面林
	社寺林
	大規模庭園・公園等で遷移がすすんだ樹林
単木あるいは列植	巨木
	街路樹
草地	高茎草地
	低茎草地
	芝生地
複合的な土地利用	みどりの多い住宅地
	みどりの少ない住宅地
	近隣公園/街区公園・墓地・公開空地
その他植栽地	屋上緑地
	花壇・低木植え込み
淡水域	湧水地
	池沼
	河川
海域	砂浜・干潟
	磯浜
	海水域
裸地	自然裸地
	人工裸地

### 3. 共有に適した種・種群の選定

#### 3.1 選定の視点

港区の生物多様性の現状を区民等と共有するにあたって、それに適した種・種群を選定します。

選定の視点及び基準は下表に示したとおりです。

選定の目的		種・種群の例
①港区の生物多様性の現状を把握・評価する	生物の生育・生息状況の把握	次のいずれかに該当するもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある環境に生育生息する代表的なもの（代表種）</li> <li>・ 環境の状態を指標するもの（指標種）</li> <li>・ 希少性のあるもの（保全すべき種）</li> <li>・ 外来生物</li> </ul>
	エコロジカルネットワークの状況を把握	環境の状態を指標するもの（指標種）で、かつ移動能力が高い・低いもの
②区民にわかりやすく提示する		①の基準に該当するもので、象徴性があるもの（象徴種）
③区民がモニタリング調査をする		次のいずれかに該当するもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①の基準に該当するもので、同定が容易で見つけやすいもの</li> <li>・ 個体数変動を把握しやすいもの</li> </ul>

※ ①及び②に該当する種は、区民向けアンケート（問3及び5）の結果を考慮して選定します。

#### 3.2 選定する種の例

3.1に示した視点に基づいて、選定する種・種群の例を次頁に示します。

表 共有に適した種・种群の例

分類群	種または种群	指標または代表する環境タイプ															種の特性									
		樹林	街路樹	草地			複合的な土地利用					淡水域		複合的な環境		古くから 豊かな土壌 豊かな土壌	海域			希少性がある	象徴性がある	同定が容易で見つけやすい	個体数変動が把握しやすい			
				高茎草地	低茎草地	芝生地	みどりの多い住宅地	みどりの少ない住宅地	近隣公園／街区公園・墓地・公園空地	屋上緑地	花壇・低木植え込み	湧水地・池沼	河川	樹林＋草地	樹林＋草地＋池沼		自然裸地	砂浜・干潟	磯浜					海水域		
哺乳類	タヌキ																					○	○			
	モグラ																						○		○	
鳥類	コチドリ																						○			
	イソシギ																						○			
	カワセミ																						○	○	○	○
	コゲラ	●																						○	○	
	ヒバリ																						○			
	シジュウカラ	◎	◎				◎		◎																○	○
	キビタキ、オオルリ	●																					○			
	メジロ	◎	◎				◎		◎	◎																
	ドバト						◎	●																	○	
	ハシブトガラス						◎	●																	○	
爬虫類	アオダイショウ																						○			
	カナヘビ、トカゲ						◎																○			
両生類	ヒキガエル																					◎		○	○	○
昆虫類	イトトンボ類																						◎		○	
	ギンヤンマ																								○	
	エンマコオロギ																								○	○
	クルマバッタモドキ																							○		
	ホシササキリ、ウスイロササキリ																								○	
	ショウリョウバッタ、オンブバッタ																								○	
	ヒグラシ	●																						○	○	○
	コムシジ	◎																						○		
植物	常緑シダ類	●																							○	
	カントウタンポポ																							○	○	○
	ススキ																							○	○	
	チガヤ																								○	
	ネジバナ																								○	○
魚類	アユ(仔魚)																							○		
	トサカギンポ																								○	
	マハゼ																							○		
	ボラ																							○		
節足動物	コメツキガニ																							○	○	
軟体動物	マガキ																							○	○	
外来生物	アカミミガメ																							○		
	アメリカザリガニ																							○		
	ブルーギル																								○	
	オオキンケイギク																								○	
●及び◎の合計		7	2	4	6	1	5	2	2	1	1	6	1	1	3	1	1	3	3	3	3	15	13	14	13	

●:指標種。環境の状態を指標するもの。 ◎:代表種。ある環境に生育生息する代表的なもの。